

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外交流推進事業		担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	国際交流官付		国際交流官 石田 徹		
会計区分	一般会計		施策名	VII-4. 科学技術の国際活動の戦略的推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画、日本再生戦略				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際共同研究ネットワークの核となる優れた研究者を育成し、我が国の学術の振興を図るとともに、成長を牽引する若手研究人材が国際的に切磋琢磨する場を提供し、国内外の優れた拠点間における頭脳循環を加速する事による強固な人脈ネットワークの構築を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際研究ネットワークの核となる優れた研究者の育成を目的として、国際共同研究に携わる若手研究者の海外派遣を行う大学等研究機関を支援する。また、我が国のイノベーション創出拠点と世界トップレベルの海外研究拠点の間における頭脳循環を加速し、強固な国際人脈ネットワークを構築するための特別枠を設け、これらの拠点間で国際共同研究に携わる若手研究者の海外派遣及び海外機関からの若手研究者の招へいを行う大学等研究機関を支援する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算					2,229	
		補正予算						
		繰越し等						
		計					2,229	
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業の目的は国際研究ネットワークの核となる優れた研究者の育成及び強固な国際人脈ネットワークの構築を図ることにあるため、達成度を定量的な指標を用いて示すのは困難。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込 ※1
	本事業により支援した大学等研究機関数		活動実績 (当初見込み)	機関	—	—	—	(104)※2
			達成度	%	—	—	—	
	本事業により派遣・招へいされた研究者数		活動実績 (当初見込み)	人	—	—	—	(328)※2
達成度			%	—	—	—		
※1:25年度活動見込みである。 ※2:平成23,24年度の「頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣事業」継続分を含む。								
単位当たりコスト	一般枠継続分:17(百万円/組織) 一般枠新規分:14(百万円/組織) 特別枠新規分:58(百万円/組織)		算出根拠	<一般枠継続分>インプット:978百万円 アウトプット:56組織 <一般枠新規分>インプット:497百万円 アウトプット:36組織 <特別枠新規分>インプット:695百万円 アウトプット:12組織				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	若手研究者戦略的海外交流推進事業費補助金	—	2,229百万円	※要求額のうち重点要求700百万円				
	計	—	2,229百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、日本再生戦略別表「日本再生に向けた改革工程表」における「2020年度までに達成すべき目標」・日本人海外長期派遣研究者数を2010年度の2倍・優れた外国人研究者受入数を3倍に基づくニーズの高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	採択機関の選定に当たっては、公募の上、日本学術振興会に設置されている「国際事業委員会」において、審査を行う予定。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	研究者個人の海外派遣を支援する「海外特別研究員事業」、研究者の派遣・招へいを行う大学等研究機関を支援する「頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外交流推進事業」を組み合わせることで、将来性のある多様な研究人材の育成・確保につながる。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>当事業では、「頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣事業」を元に、より効果的な若手研究者の派遣・招へいを行う大学等研究機関を支援する事業として制度設計を行った。</p> <p>【目的・予算の状況】 組織における役割分担の増加等により、海外に行きたくても行けない状況にある若手研究者の海外派遣の機会を促進するため、研究者の派遣を行う大学等研究機関を支援する。また、我が国のイノベーション創出拠点と世界トップレベルの海外研究拠点の間において強固な国際人脈ネットワークを構築するため、これらの拠点間で行う国際共同研究に携わる若手研究者の海外派遣及び海外機関からの若手研究者の招へいを行う大学等研究機関を支援する効果的な事業として実施する。</p> <p>【資金の流れ、費目・使途】 採択機関の選定に当たっては、ピアレビューに基づいた学術的観点から審査を行い、毎年度の事業終了後には、実績報告書のチェック等により補助金の費目・使途が事業目的に即したものになっているか確認する計画となっている。</p> <p>【活動実績、成果実績】 「選択と集中」の観点より、質の高い提案に対してメリハリのある配分を行いつつ、支援組織数の増加を目指す。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>本事業は、定性的な内容ではあるが成果目標が立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</p> <p>○「第4期科学技術基本計画」(平成23年8月19日 閣議決定): http://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/4honbun.pdf</p> <p>○「日本再生戦略」(平成24年7月31日 閣議決定): http://www.npu.go.jp/policy/pdf/20120731/20120731.pdf</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
2,229百万円

国際研究ネットワークの核となる優れた研究者の育成や、国内外の優れた拠点間における頭脳循環を加速することによる強固な人脈ネットワークの構築を目的として、国際共同研究に携わる若手研究者の派遣・招へいを行う大学等研究機関を支援

【補助金】

A:若手研究者戦略的交流
推進事業費補助金
(独)日本学術振興会
2,229百万円

【補助金の交付・公募・審査に係る業務を実施。】

【公募・補助金】

B:平成25年度採択予定課題
2,170百万円
大学・独立行政法人等
(全104組織)

若手研究者を海外へ派遣し、派遣先の研究機関と行う国際共同研究に携わり、様々な課題に挑戦する機会を提供するとともに、海外機関から若手研究者を招へいし、海外機関との強固なネットワークの構築に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(独)日本学術振興会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	大学・独立行政法人等へ交付予定	2,170			
その他	事務担当職員経費、会議開催経費等	45			
謝金等	委員手当、書面審査謝金	8			
旅費	委員会出席等旅費	6			
消耗品	消耗品費	1			
計		2,229	計		0
B.大学・独立行政法人等			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	一般枠継続分:17百万円×56組織 一般枠新規分:14百万円×36組織 特別枠新規分:58百万円×12組織	2,170			
計		2,170	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。